

## 平野区地域自立支援協議会 議事録

## 1. 日時

平成27年10月23日、15:30～17:15

## 2. 場所

平野区役 3F 303会議室

## 3. 出席者

事業所名・担当部署名	出席者数
特定非営利活動法人障がい者福祉総合支援センターいちいちまる	0
大和川園	0
さくら福祉作業所平野支部	0
ヘルパーステーションオアシス	2
くくるワークス	1
スカイ・アポロン/スカイ・アンドロメダ/スカイ・ペガサス	2
ヘルパーステーション羽ばたき	0
永寿の里かけはし	1
自立支援センターさんぼみち	0
地域活動支援センターもくれん	1
大阪市障がい者就業・生活支援センター/南部地域障がい者就業・生活支援センター	0
平野区障がい者相談支援センター	1
見守り支援	1
保健福祉課	3
相談支援事業ひらの	1
合計	13

特別参加：特定非営利活動法人ところ フリースペースALIVE

## 4. 議事

## 4.1. 協議会運営について

これまで協議会の運営について、課題抽出の方法として、訪問系・就労系など事業の種類別にグループ分けすると、問題点が一緒なので相談しやすいとの意見から、始めの1時間は全体の協議、その後グループごとの協議というやり方かどうかとの提案があった。また、事務局サイドから当事者部会、権利擁護部会の必要性についての提案があった。今回、出席者の自己紹介の時にそれぞれ協議会に対する意見等を求め、出た意見について、事務局の方で練って、動かせるものから動かしていく事とする。主に  
出た意見は次のとおり。

- ・部会で活動している中で自立支援協議会の名を安易に使えるのか等に悩んでいる。
- ・部会レベルでの問題点がどんどん上がってくれば、協議会の活発化するのではないか。
- ・訪問系、就労系、日中活動系等、色んな方が使えるもの、一事業所では出来なくても、協議会の名前を使えば、色んな団体等とも折衝できるようになるんじゃないか。
- ・障がい者の方のスポーツや恋愛等、仕事の外側にある部分について、楽しくやっていけるような協議ができれば良い。
- ・放課後デイの部会や子どもの部会も必要ではないか。
- ・ヘルパーの部会も必要ではないか。また部会の立ち上げ準備会として、事務局が中心となって動けば良い。

## 4.2. 部会報告

### 4.2.1. 日中活動部会

販売に焦点を当てたテーマで8月に定例会を開催した。秋フェス、和っしょい平野での販売等に、いつの間にか呼ばれなくなり、販売する場所がすごく減っていると意見があり、販売の販路について声を上げていきたい。今回は、まちづくりセンター、社会福祉協議会からも出席いただいて、まちづくりセンターからは、12月19日のボランティアビューローのオープニングイベントで、演奏等で盛り立ててくれるところがあればとの呼び掛けがあった。また各事業所が、うちはこんな商品を扱っていますといったチラシを作って配布したらどうかとの案があり、これに対しては社会福祉協議会も手伝いができるかもしれないとなった。話し合いを進めた結果、通所事業所連絡会としても販売をしている施設は限られているので、利用者募集・ボランティア募集や自分たちの活動内容等、広く知ってもらいたいという事でチラシを活用し、12月19日のオープニングイベントで、来ていただいた方にお渡しするというコンセプトで、それに対して社会福祉協議会もバックアップしてくれて、これが今、一大事業となっている。まちづくりセンター・社会福祉協議会と部会としての関わりも深まり、今後の定例会でも参加できる時は参加したいと言っていた。次回11月19日の定例会は、生活介護の事業所について知ろうという事で、生活介護にスポットを当てて、関心を持った方には参加していただき、広く知っていききたいと思っている。

### 4.2.2. 相談事業部会

最近では司会や書記作成等の形を取れるようになり、良い形になってきた。東住吉特別支援学校の先生も定例で参加してくれるようになり、学校との情報交換、また生のケースが出て来ると、勝手に事業所が出てくるので、その場ですぐにケース会議のようになっている。先生が言っていたのは、以前だと学校を卒業した後は行政が担当し、責任がはっきりしていたのに、今はそれがなくなってきており、全部学校でやっていく。その中でいくつかはどこにも繋がらないケースが出てきて、それが学校としての悩みの種だとの事。平野区のケースについて、卒業までに学校からセンターを通じてでもきっちり繋がって、そこから相談支援事業所に、誰かがつくという形の話し合いになれば良いと、前向きな話をしている。

### 4.2.3. 研修部会

前回は9月に大念仏寺社会事業団に行った。障がいとは少し違うが、母子生活支援施設・児童の自立援助ホーム・乳児院と、市内にもあまりない施設が平野区では1か所にかたまっている。大念仏寺の会議室を借り、ビデオを見せてもらったり、見学させてもらったりした。次回、11月は年金について、相談支援専門員として、知っておきたいくらいのお話を予定している。

## 4.3. ホームページの作成

事業所のホームページへのリンクについて、事務局から3点の提案があった。

- ① 大阪市へのリンクの設定。事業所選別することなく公平性を担保する。
- ② 協議会及び部会参画メンバーの紹介との位置づけで、それらのリンクを設定する。
- ③ 他の事業所からのリンクの依頼に関しては、すべて事業所の要望に応じるのは多大な事務負担が発生する恐れがあり、対応に困難を極める恐れがあることから、現時点では受け付けない。

これを受けて、③についての意見としてホームページのリンクについてはどんどん載せていったら良いとの意見が出た。リンク先の内容に関しては自立支援協議会は責任を負いませんと一文を載せること、ホームページのメンテナンス等の事務負担は、現状の1名でやっているのではなく、協議会で運営する形を作る事とする。

## 4.4. 区政会議のフィードバック

自立支援協議会から区制会議に参画している保田氏より、9月25日のオリエンテーション、10月19日の会議について報告があった。平野区の将来ビジョン、長期計画、その単年度の計画の運営方針の素案に対して意見を述べる立場であり、協議会発信で意見してほしい事等があれば、区政会議で上げられるものは上げてくる。教育と福祉の連携について、発達障がいのことが書かれてあり、次世代の育成のところでは、教育の中に福祉的な要素を含めていくという事で、短期的でなく長期的な人材育成に繋がるような仕組み作りが必要ではないかと、意見を述べてきた。

#### 4.5. その他

##### 4.5.1. 協議会予算

今年度の活動の中で実績を積み重ね、各部会において本来かかるであろう予算を算出する。各部部长も予算の事も気にしながら活動する。

##### 4.5.2. 平野区障がい者高齢者虐待防止連絡会議

12月に開催となっており、昨年同様に参加。平野区内にある指定相談支援事業所の立場での参加となり、センターの立場から小河原氏、事業所からは吉村氏ともう1名の参加が可能か区からの返事待ちとなった。

以上